

(代表質問)

質問日	令和6年3月7日(木)			質問方式	分割方式		
質問順位	1	会派名	自由民主党浜松	議席番号	28	氏名	稲葉 大輔
表 題	質 問 内 容						答弁者の職名
1 地方創生に向けた子育て支援策について	<p>(1) 令和6年度予算が上程され、中野市長として初めての予算編成となるが、地方創生を推進する大きな柱である人口減少対策に向け、子ども・子育て支援施策に対する市長の考えを伺う。</p> <p>(2) 子どもの居場所支援として国の補助制度の予算が計上されている「児童育成支援拠点事業」に対する考えを伺う。</p> <p>(3) 地域子育て支援拠点事業として、ひろば型、センター型、児童館型の組み合わせにより整備を進めてきた。浜松子ども館は人気があり、利用定員の制限はないため、混雑する日も多い。そして児童館は生涯学習施設としても利用されているが、老朽化が進んでいる。また、高齢者施設から多世代交流を目的に改装された、ふれあい交流センターも新型コロナが終息し、利用者が増えているが、地域子育て支援拠点としての管理運営はされていない。</p> <p>そこで、子育て支援の充実、市民の満足度を向上させるため、地域子育て支援拠点の機能の拡充に対する考えを伺う。</p>						<p>中野市長</p> <p>吉積こども家庭部長</p> <p>中野市長</p>
2 教育の課題解決に向けて	<p>(1) 第3次浜松市教育総合計画において、教育の情報化やコミュニティ・スクールといった新たな取組が行われてきたが、不登校や子どもの貧困、発達支援など多くの課題が顕在化している。</p> <p>これらの課題解決に向け、次期計画をどのように考えるか伺う。</p> <p>(2) 教育活動における様々な課題解決の一助として、生成AIなどの革新的技術の活用に対する考えを伺う。</p>						<p>宮崎教育長</p> <p>奥家学校教育部長</p>
3 防災・災害対策について	<p>(1) 能登半島地震の被災状況や支援の状況報告を受けて、本市の災害対策、災害対応における課題認識と見直しの必要性、今後の取組について伺う。</p> <p>(2) 昨年の線状降水帯による土砂災害においては、倒壊家屋への対応や発生土砂の搬出先などで課題があり、迅速な対応ができなかったと考えるが、こうした災害時に発生する木くずや瓦礫、土砂などの搬出先に対する考えを伺う。</p>						<p>中野市長</p> <p>長田副市長</p>

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
<p>4 家庭ごみ有料化について</p> <p>5 カーボンニュートラル政策について</p>	<p>(1) 家庭ごみ排出量の目標値を設定し、市民総出により減量推進を図ることを目指すこととなったが、目標達成に関する基準と、実績値に対し、どのような判断に基づいて有料化を実施するのか。 また、2028年まで各年の目標を達成した場合に有料化しないのか、今一度伺う。</p> <p>(2) 2028年時点までの目標値を達成した場合、施設の更新費用や社会経済情勢によって有料化を実施する可能性があるのか伺う。</p> <p>(1) 浜松版シュタットベルケを理想としてスタートした(株)浜松新電力の現在地と、今後の展開について伺う。</p> <p>(2) Jークレジット制度の活用について伺う。</p> <p>(3) 再生可能エネルギー拡大の切り札として注目を集めている「ペロブスカイト太陽電池」など、新技術、新製品の開発、活用に向けた考えについて伺う。</p>	<p>中野市長</p> <p>袴田カーボンニュートラル推進事業本部長</p>
<p>6 地方創生に資する産業課題の解決について</p>	<p>(1) 本市を支えてきた輸送機器産業のCASE技術やEV次世代シフトに向けた次世代自動車センターの成果と今後の取組について伺う。</p> <p>(2) 外国人人材の確保に対する具体的な取組として、海外の自治体との連携を強化し、自治体間において、人材獲得や育成を促進する交流協定を締結する考えはないか伺う。</p> <p>(3) 地方創生に資する大学との連携強化について、学生世代や高度人材を本市へ取り込む直接的なコンテンツとして、浜松の特異性、産業の成長性、若者からの魅力、世界的なニーズを捉えた大学の誘致、設立に向け、首都圏や海外の大学との連携を強化すべきと考えるが、大学との連携や教育機関の誘致、設立を進める考えはないか伺う。</p> <p>(4) 中心市街地活性化の推進母体について、これからはソフト事業だけでなく、都市計画制度と一体的に進めていく必要がある。また、推進に当たっては、地域の関係者、デベロッパー、金融機関、大学や研究機関など産官学が連携した体制の構築や、都市再生推進法人制度の活用も重要と考えるが、今後の取組について市の考えを伺う。</p> <p>(5) うなぎの完全養殖が実用段階に迫る中、養鰻施設でのスマート養殖の予算が計上されている。これまでのス</p>	<p>北嶋産業部長</p> <p>中野市長</p> <p>北嶋産業部長</p> <p>中野市長</p> <p>清水農林水産担当部長</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>タートアップや補助金の域を超えて、浜松独自の産業振興に資する取組に対して、第三セクターや投資組合などに直接出資し、本市として浜松浜名湖ブランドのうなぎの完全養殖に取り組む考えはないか伺う。</p>	
7 観光振興について	<p>(1) 広域DMOと地域DMOとして規模の違いはあるが、本市DMOにおいても、瀬戸内DMOのようなコンテンツ造成や施設運営など、直接的に稼ぐ事業のDMCの運営も検討すべきと考えるが、本市の考えを伺う。</p> <p>(2) 徳川記念財団及び徳川宗家の収蔵品は、文化財を含め約2万点に上るとされ、現存のドラマ館だけでは、展示に限界があるように考えられるが、ドラマ館跡地の展示施設に関する検討状況と収蔵品の分散展示による回遊性の創出を図る考えはないか伺う。</p>	<p>齊田観光・ブランド振興担当部長</p> <p>石坂企画調整部長</p>
8 スポーツ振興について	<p>(1) 次期スポーツ推進計画の策定に向け、スポーツ振興に関する本市の課題認識と本市が目指すスポーツにおける地方創生について考えを伺う。</p> <p>(2) 大型施設の整備計画が進められているが、整備後の運営においては、プロスポーツコンテンツの充実が鍵を握ると考える。特にメジャープロスポーツによる地域活性化は、郷土愛の醸成や地域ブランドの構築に大きな効果があり、各都市において積極的に進められているが、プロ野球やサッカーJリーグ、バスケットボールBリーグ、バレーボールVリーグなどメジャースポーツが関わる施設運営に対する今後の取組について伺う。</p>	<p>中野市長</p>
9 政策立案について	<p>保有データ等の利活用を推進するため構築予定である庁内データ分析基盤について、期待される具体的な効果と課題について伺う。また、大量の蓄積データを分析、解析結果を「活用」するためには、データサイエンティストとしての高いスキルが求められるが、職員をどのように育成していくのか伺う。</p>	<p>水谷デジタル・スマートシティ推進部長</p>